



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東  
 コード番号 6627 URL http://www.teraprobe.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,430	△27.5	703	△55.6	715	△53.9	226	36.4
28年3月期第2四半期	11,632	9.1	1,584	193.0	1,554	175.8	165	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 47百万円(82.2%) 28年3月期第2四半期 26百万円(△93.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	24.35	—
28年3月期第2四半期	17.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	38,197	23,615	53.4	2,196.30
28年3月期	35,834	23,653	57.0	2,200.08

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 20,386百万円 28年3月期 20,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—

3. 平成29年3月期第3四半期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想については開示いたしておりませんが、開示できるようになりましたら適時、公表することといたします。

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	13,300	△22.8	1,250	△45.6	1,250	△41.2	450	10.0	48.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	9,282,500株	28年3月期	9,282,500株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	145株	28年3月期	145株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	9,282,355株	28年3月期2Q	9,282,361株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成28年11月16日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用環境は改善傾向にあるものの、年初からの円高進行による企業収益の減少や個人消費の伸び悩みから、足踏み状態が続きました。海外においては、新興国経済の先行き不透明な状態は続いておりますが、米国経済の堅調な拡大を受けて、全体としては緩やかな回復傾向にあります。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡、国内のメモリ製品の生産ミックスの変化や熊本地震の影響などにより売上高は8,430百万円(前年同期比27.5%減)となりました。売上高の減少に伴って売上総利益が減少し、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、営業利益は703百万円(前年同期比55.6%減)、経常利益は715百万円(前年同期比53.9%減)となりました。しかしながら、親会社株主に帰属する四半期純利益については、226百万円(前年同期比36.4%増)となりました。これは、前年同期にはウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡に伴う特別損失を計上したことなどによるものです。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

## ① メモリ事業

当第2四半期のメモリ事業は、台湾において新興国向けスマートフォンなどに使用するメモリ製品の受託量が順調に増加したものの、国内において生産ミックスの変化が続いたことから、前四半期と比較して、売上高、利益ともに減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のメモリ事業の売上高は5,548百万円(前年同期比21.6%減)、セグメント利益は1,298百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

## ② システムLSI事業

当第2四半期のシステムLSI事業は、国内においては熊本地震の影響からの回復が進んだことに加え、台湾においても既存顧客からの受託量が増加したことにより、前四半期と比較して売上高が増加し、四半期ベースでのセグメント利益が黒字に転換いたしました。

なお、前年度の売上高やセグメント利益には、ウエハレベルパッケージに関する事業が含まれておりましたが、平成28年4月1日付でアオイ電子株式会社に当該事業を譲渡しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のシステムLSI事業の売上高は2,931百万円(前年同期比33.2%減)、セグメント利益は49百万円(前年同期比80.9%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は38,197百万円となり、前連結会計年度末比2,363百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が4,807百万円、有形固定資産が2,184百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,392百万円、有価証券が3,000百万円それぞれ減少したことによるものです。なお、当第2四半期連結累計期間の設備投資は6,166百万円となりました。

負債は14,582百万円となり、前連結会計年度末比2,401百万円の増加となりました。これは主に、設備投資資金の調達で長期借入金が2,395百万円増加したことによるものです。

純資産は23,615百万円となり、前連結会計年度末比38百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が226百万円増加した一方で、為替相場の変動の影響により、為替換算調整勘定が266百万円、非支配株主持分が11百万円それぞれ減少したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は7,981百万円となり、前連結会計年度末比907百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,056百万円の純収入(前年同期比2.4%の収入増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益668百万円、減価償却費2,530百万円、売上債権の減少1,282百万円などにより資金が増加した一方で、仕入債務の減少791百万円、法人税等の支払369百万円により資金が減少したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,010百万円の純支出(前年同期比75.7%の支出増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,990百万円があったことにより資金が減少したためです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,968百万円の純収入(前年同期比538.0%の収入増)となりました。これは主に、設備投資資金の調達等で借入金による収入が長短合わせて5,059百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入965百万円があったことにより資金が増加した一方で、借入金の返済による支出が長短合わせて1,365百万円、リース債務の返済による支出が595百万円あったことにより資金が減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第3四半期における半導体市場につきましては、季節要因による生産調整等もありますが、スマートフォンを中心としたモバイル機器向け製品など、需要は引き続き堅調に推移するものと予想されます。

このような状況の下、当社グループにおいては、既存製品の受託量の増加などにより、メモリ事業、システムLSI事業ともに前四半期と比較して、売上高、利益の増加を見込んでおります。受託量増加に対応するために第2四半期連結累計期間に6,166百万円の設備投資を実施しておりますが、更なる生産体制強化のための投資を継続し、第3四半期連結累計期間としては8,200百万円の設備投資を見込んでおります。

これらの結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が13,300百万円、営業利益が1,250百万円、経常利益が1,250百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は450百万円と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,573,604	11,381,058
受取手形及び売掛金	5,158,753	3,766,473
有価証券	4,000,000	1,000,000
製品	25,325	30,565
仕掛品	231,006	250,829
原材料及び貯蔵品	184,295	50,726
その他	900,436	1,054,802
流動資産合計	17,073,422	17,534,455
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,579,059	11,427,086
その他(純額)	7,010,942	8,347,558
有形固定資産合計	17,590,002	19,774,645
無形固定資産	284,793	228,177
投資その他の資産		
その他	885,986	660,382
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	885,895	660,291
固定資産合計	18,760,691	20,663,113
資産合計	35,834,113	38,197,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,777	578,660
短期借入金	987,037	1,579,392
1年内返済予定の長期借入金	40,000	328,000
リース債務	800,737	678,961
未払法人税等	382,099	215,283
賞与引当金	484,546	437,252
事業譲渡損失引当金	175,408	-
その他	2,152,866	2,250,645
流動負債合計	6,392,473	6,068,196
固定負債		
長期借入金	4,109,817	6,505,594
リース債務	842,667	1,285,338
退職給付に係る負債	232,556	245,776
その他	602,827	477,221
固定負債合計	5,787,868	8,513,930
負債合計	12,180,341	14,582,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△2,860,414	△2,634,393
自己株式	△128	△128
株主資本合計	20,343,037	20,569,058
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	192,241	△74,539
退職給付に係る調整累計額	△113,375	△107,647
その他の包括利益累計額合計	78,866	△182,186
新株予約権	35,608	44,175
非支配株主持分	3,196,260	3,184,395
純資産合計	23,653,772	23,615,442
負債純資産合計	35,834,113	38,197,569

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,632,050	8,430,861
売上原価	8,859,471	6,753,456
売上総利益	2,772,578	1,677,404
販売費及び一般管理費	1,187,644	973,701
営業利益	1,584,933	703,702
営業外収益		
受取利息	3,805	2,018
受取保険金	-	30,119
設備賃貸料	28,687	79,474
その他	29,465	25,318
営業外収益合計	61,957	136,931
営業外費用		
支払利息	50,979	45,968
持分法による投資損失	-	3,561
貸与資産減価償却費	7,623	35,057
その他	34,195	40,238
営業外費用合計	92,798	124,826
経常利益	1,554,093	715,807
特別利益		
固定資産売却益	62,976	12,784
その他	-	300
特別利益合計	62,976	13,084
特別損失		
固定資産売却損	-	11,499
固定資産除却損	3,018	5,728
減損損失	992,061	43,519
事業譲渡損失引当金繰入額	114,559	-
特別損失合計	1,109,639	60,746
税金等調整前四半期純利益	507,429	668,145
法人税等	106,312	103,122
四半期純利益	401,117	565,023
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	165,658	226,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	235,458	339,001
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△377,081	△523,099
退職給付に係る調整額	2,123	5,727
その他の包括利益合計	△374,958	△517,372
四半期包括利益	26,158	47,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,529	△35,031
非支配株主に係る四半期包括利益	50,688	82,682

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	507,429	668,145
減価償却費	2,664,890	2,530,015
減損損失	992,061	43,519
株式報酬費用	15,102	8,567
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19,103	13,220
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,230	58,652
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	114,559	△175,408
受取利息	△3,805	△2,018
支払利息	50,979	45,968
設備賃貸料	△28,687	△79,474
受取保険金	-	△30,119
持分法による投資損益(△は益)	-	3,561
固定資産除売却損益(△は益)	△59,957	4,442
売上債権の増減額(△は増加)	△904,488	1,282,609
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,774	△104,229
仕入債務の増減額(△は減少)	261,287	△791,061
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△62,683	△189,706
その他の流動負債の増減額(△は減少)	190,131	176,768
その他の固定負債の増減額(△は減少)	79,431	4,173
その他	105,171	479
小計	3,777,314	3,468,104
利息の受取額	3,883	2,265
利息の支払額	△51,613	△45,088
損害賠償金の支払額	-	△48,399
補助金の受取額	5,215	12,341
保険金の受取額	-	30,119
法人税等の還付額	15,093	5,964
法人税等の支払額	△354,786	△369,294
事業構造改善費用の支払額	△411,935	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,983,170	3,056,013
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△4,400,000
定期預金の払戻による収入	2,000,000	3,500,000
有形固定資産の取得による支出	△3,672,019	△5,990,419
有形固定資産の売却による収入	247,458	261,873
無形固定資産の取得による支出	△24,697	△29,086
設備賃貸料の受取額	27,913	80,717
事業譲渡による収入	-	596,547
その他	△126	△30,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,421,470	△6,010,616

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	1,556,240
短期借入金の返済による支出	△160,000	△900,000
長期借入れによる収入	2,835,466	3,503,052
長期借入金の返済による支出	△2,085,802	△465,907
自己株式の取得による支出	△43	-
リース債務の返済による支出	△1,443,710	△595,511
セール・アンド・リースバック取引による収入	965,400	965,458
非支配株主への配当金の支払額	△189,222	△94,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	622,086	3,968,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93,225	△106,726
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,560	907,454
現金及び現金同等物の期首残高	6,880,013	7,073,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,970,574	7,981,058

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,073,417	4,392,386	11,465,803	166,246	11,632,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,073,417	4,392,386	11,465,803	166,246	11,632,050
セグメント利益	1,977,701	259,132	2,236,833	△651,899	1,584,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△651,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△775,159千円、連結消去90,561千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額32,698千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メモリ事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては9,367千円であります。

システムLSI事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては12,999千円であります。

また、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡を決議したことに伴い、固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては969,694千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,548,100	2,931,961	8,480,062	△49,200	8,430,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,548,100	2,931,961	8,480,062	△49,200	8,430,861
セグメント利益	1,298,787	49,553	1,348,340	△644,638	703,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△644,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△753,211千円、連結消去123,803千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△15,230千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メモリ事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては43,519千円であります。